

2023 第1回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【英語】

今回が中2の最初のテストということで、長文2題の読解問題と5題の文法・客観問題の構成であり、文法・客観問題は、基本問題と応用問題を合わせた内容になっています。

1 長文読解問題（物語文）

昔むかし、中国の王[帝]が日本から来た使節からの贈り物の中の猫を気に入り、複数の賢者に命じてその猫の名前をつけさせようとするが、賢者たちの意見が合わず、結局その猫は名前がないままだったという話です。問3の和訳は、文中の the same answer が指す具体的な内容を明らかにする問題ですが、直前の段落に書かれている It has no name. 「それ[猫]には名前がない。」が該当部分であることは、判断しやすいかと思います。問7の適語選択については、ネズミが木の堀をかじるということを考えれば、teeth 「歯」を容易に選べると思います。全体としては、本文の内容の大筋を読み取ることができれば、ある程度の得点を取ることができると思います。

2 長文読解問題（説明文）

スマートフォンの使い過ぎ、つまり、「スマホ中毒」について述べた文です。身近なテーマなので、多くの受験者は興味を持って読み進めることができたかと思います。問4の整序は、日本語の意味が「あなたは1日にどのくらい長くスマートフォンを使いますか。」となるように、How long で始まる疑問文に並べ替えます。問5の同内容表現抜き出しは、下線部(5)の「スマートフォンが身の回りにないと不安になる」は、その前に書かれている「スマートフォンなしでは1日も過ごせない」がほぼ同じ内容であると判断します。問7の適語補充は、直前の段落に until bedtime 「寝る時間まで」とあり、この部分は before を用いて「寝る時間の前に」に言い換えられます。問8の要約文完成は、本文の内容をおおよそ掴めればさほど難しくないと考えます。

3 適語（句）選択問題

1の空所 a は、空所 b に入る語が map 「地図」であることがわかれば、「（地図上で）示す」となるので、show が適切です。4の空所 a は、One of my friends 「私の友人の一人」と単数形の主語になるので、

be 動詞は is が適切です。以上のことに気をつければ、その他の問題はさほど難問もないので、正解を得やすいと思います。

4 対話文完成問題

2～5 は答えの文から判断します。2 はニューヨークの天気、3 は新幹線の速さを問う疑問文になるので、2 には weather, 3 には fast 「速い」が入ると判断できます。4 は「この物[ボールペン]を使います」から、疑問詞 Which 「どちらの」が入り、5 は「風邪をひいて少し熱があった」から、absent 「欠席した」が入ると判断できます。

5 連立完成問題

2 と 3 が難問です。2 は「生まれ故郷は名古屋だ」を「名古屋で生まれた」と言い換えて、born が入ると判断します。3 の「どこに住んでいますか」は「住所を知っていますか」と言い換えられるので、address 「住所」が入りますが、d を重ねるスペルに注意しましょう。

6 英作文問題

(A)の1の最後の空所には by 「～までに」が入ります。until[till] 「～まで」との意味の違いをしっかりと区別して覚えましょう。(A)の2は難問です。日本語には「いつ」とありますが、date 「日付」を問う疑問文なので、What で始めます。基本的な英文として、What is the date today? 「今日は何月何日ですか。」があります。(B)の2の「(カップで)もう1杯」は another cup of で表します。

7 語い問題

4 問の中では、1 と 3 は基本的な単語なので、確実に正解しておきたい問題です。あとの2つの語 mammal 「ほ乳類」、recycle 「リサイクル[再生利用]する」は、もしこのテストでできなかつたら、次に出題された時は確実に答えられるようにしましょう。

2023 第1回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【数学】

今回の学力テストは、これまでの中学1年生までに学んだ算数・数学に「連立方程式の解法」を加えた単元で構成されています。連立方程式の文章題は第2回テスト以降の出題範囲であることから、今回は連立方程式の計算に限定して出題しています。また、他の単元についての知識と解答力を試す意図で、可能な限り多くの分野から作問しました。終盤の問題(5, 6)は中2後半、中3で学習する知識があればサンプルに解くことが可能な面もありますが、現時点の知識でも思考力を駆使することで突破できることを示しました。苦戦した場合には、解説の考え方を理解し、今後に役立ててもらいたいと思います。

1 計算問題

中1範囲と連立方程式からの出題。基礎的な計算力が身についているかを試す問題です。(4)は $A=B=C$ の形の連立方程式ですが、係数、定数が一部扱いにくいので上手に利用する方法を見つけないと苦戦するかもしれません。

2 小問集合

(1)・(2)は中1、中2で学習する典型的な問題です。(3)は正しい手順でミスなく方程式を立てる必要があります。(4)でも同様に立式から始めるべきですが、考慮しなければならない面が多く、見た目以上に骨が折れます。これらの問題では、式を立てる力、構成力、計算力を試しました。

3 文字式の利用(規則性)

この形式の出題が公立高校入試問題に取り入れられてからしばらく経ちます。受験予定の生徒にとっては将来へ向けての訓練、受験予定がない場合であっても問題を読解し、その求める通りの解答を作成するのは数学の基礎的な力ですから、いずれの場合であっても十分に復習することが必要です。

4 関数と図形

全小問、関数単元の典型的な問題です。この単元は計算力が多い長丁場になりがちで、正しく式を立て、目的を定めた上で動かないと、途中で自分の位置を見失うことになりかねません。何を求めようとしているのか、順序良く検討していけるかがポイントです。

5 平面図形

問題内容はシンプルですが、図が不正確だと自滅しかねないので注意が必要です。(2)(ii)では例として掲げられた図を手がかりにして図を完成させた上で、計算に入ります。時間のかかる問題として設定したので、答案の状況次第では後回しにする等の対処が必要です。

6 規則性

(1)は空間図形の小問ですが、実質的に平面図形の基本問題です。図を把握しにくい場合には、自分で平面図を描くことです。(3)は、最後の難問として設定しました。奇妙な形の立体に見えても、適切に切断することで馴染みのある立体に分けられるというのはよくある問題です。切断する場合でも、常に錐体の体積の公式から離れることなく、底面積や高さなどの値を求められるかを検討してください。

2023 第1回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【国語】

二年生になり最初の学力テストであるので、漢字やことばの基本的な知識問題、随筆文と論説文のオーソドックスな読解問題を出題しています。この形式によって、現在の総合的な国語力の診断ができるようなテストになっています。読解問題の設問の種類も、選択・抜き出し・記述と基本的なものを揃えましたので、苦手な設問の克服に活用してください。

一 漢字の読み書き

読みも書き取りも漢字として特に難しいものはありませんが、出題されたものを単語として知っているかどうかポイントになります。(3)や(8)は同訓異字の区別に注意しましょう。また(1)や(6)は熟語としての知識が必要です。

二 ことばの知識・用法

知識の種類としては幅広く、ことわざ・慣用句・対義語・四字熟語などを出題しました。問一は数字を含んだことわざで問二は動物名を含んだ慣用句ですが、どちらの種類もよく出題されるので同じようなことばの知識を増やしましょう。また問四のような間違いさがしの設問は、知識の正確さがポイントになります。漢字で書かれるものは文字もしっかりと覚えましょう。

三 随筆文の読解…………… 立松和平『僕は旅で生まれかわる』より「インド的混沌」。

小説家である筆者の旅にまつわるという随筆集から、筆者が実際にインドを旅した経験から書かれた文章を採り上げました。インドという極めて個性的な国の一端を知ることで、異文化に対する関心を養い、視野を広げてほしいと思います。また、**問三**と**問七**の記述問題が正解であれば、情景をしっかり読み取れており、正確な読解力と記述力が身につけているといえます。問題文だけではなく、設問文の読解力も必要です。問われていることに対して正しく答えるという意識を常に持ち続けることがとても大切です。

四 論説文の読解…………… 山形辰史『国際協力ってなんだろう』より「開発援助ー借入は計画的に」。

中高生に向けて開発途上国の姿や国際開発の取り組みを紹介した随筆集の中から、先進国が開発途上国へ行う開発援助の実態と課題点について述べられている文章を採り上げました。難しいテーマですが、融

資という社会システムについての理解を深めてほしいを思います。難しい言葉がたくさん使われていますが、あえて注釈をたくさん入れることによって、面倒でも言葉の意味を確認しながら文章の内容を理解する練習にもしてほしいと思います。二つある記述問題のうち、問三は傍線部に到る文脈がきちんと読み取れていることがポイントです。問六は問われている内容を正確に理解することが重要で、ここでも設問に対する強い意識が必要とされています。